

Ⅱ 第二次事前評価調査報告書

第1章 第二次事前調査団の派遣

1-1 調査の背景

タイ及びその周辺国（カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ベトナム）では、国境を越えた家畜の移動の増加等に伴い家畜衛生事情が悪化してきたことを受け、2001年12月から当該地域における家畜疾病防除技術の改善を目的とする広域技プロ「タイ及び周辺国における家畜疾病防除計画」（以下、フェーズ1）を実施し、① 地域協力体制及び人材の強化、② 家畜疾病診断技術の向上、③ ワクチン製造及び品質管理技術の向上、④ 家畜検疫技術の向上に取り組んできたが、期待された成果をあげたため2006年12月に終了した。

一方、フェーズ1の後半に当該地域で鳥インフルエンザが発生したこと等から、対象6ヶ国から家畜疾病監視体制のさらなる強化（特にローカル、フィールドレベルへの展開）に焦点を当てたフェーズ2に係る要請書が提出され、2006年12月に採択された。このため、2007年1月～2月に事前評価調査（第一次）を実施し、各国関係者との意見交換及び現地調査を通じて、案件の基本的な枠組（暫定PDMを含む）と各国のパイロットサイト等について合意に達し、その内容を取りまとめたM/Mにつき各国代表者とともに署名した。（別紙1参照、ただし事前評価調査（第二次）を通じて対象国側と合意に達した一部修正事項も反映）

しかしながら、地域レベルの円滑な実施を視野に入れたプロジェクトの運営体制について各国の合意が得られず、再度協議すべき課題として残された。プロジェクトの運営体制案をJICA側で再検討し、各国事務所を通じてC/P機関に対して非公式に打診・調整した結果、おおむね各国の合意を得られる目途が立ったことから、当該運営体制案を各国との間で正式に協議して合意することを主たる目的として、事前評価調査団（第二次）を派遣することとした。

なお、今次調査団の訪問国は、協力実施に際して中心的な役割が期待され、かつ事前評価調査（第一次）時にプロジェクト運営体制をめぐり意見の相違が見られたマレーシア及びタイの二ヶ国とした。ただし、本広域技プロでは全対象国間での合意のプロセスが重要となることから、タイにて各国代表者が参加の上でWrap Up会合を開催し、必要な協議を行った。

1-2 調査団派遣の目的

- (1) 対象各国関係者との意見交換を通じて、プロジェクトの運営体制（地域レベル及び各国レベル、事務局組織のあり方等を含む）について各国と合意する。
- (2) 暫定PDM等について情勢の変化を反映させて若干修正し、各国と合意する。
- (3) (1)、(2)及び第一次調査の結果を踏まえ、プロジェクトの枠組をM/M（R/D案を含む）に取りまとめ、各国代表者との間で署名する（M/Mについては、日本側と各国代表者との間で（バイで）署名するが、各国個別の事項を除き基本的に共通の内容とする）。

- (4) 可能な範囲で、他ドナーの援助動向及び家畜衛生をめぐる最近の動向等を調査する。
- (5) 帰国後、国内関係者に調査結果を報告するとともに、これまでの調査結果等に基づき事業事前評価表を作成する。

1－3 調査団の構成

本調査団の構成は以下のとおり。

1	総括／団長	奥地 弘明	農村開発部第一グループ 水田地帯第二チーム チーム長
2	計画管理	天目石 慎二郎	農村開発部第一グループ 水田地帯第二チーム 職員

1－4 調査日程

調査期間：平成 19 年 6 月 13 日（水）～6 月 21 日（木） 計 9 日間

- ・マレーシア：平成 19 年 6 月 13 日（水）～6 月 16 日（土）
- ・タイ：平成 19 年 6 月 16 日（土）～6 月 20 日（水）

第2章 調査結果要約

(1) プロジェクトの運営実施体制

今回、懸案となっていた国レベル及び地域レベルの実施運営体制（組織）について6ヶ国の合意を取り付けることができた。獣医・畜産分野における国際機関（FAO、OIE（国際獣疫事務局））の協力と異なり、タイに配置される長期専門家を除いて各国に実施・運営のための常勤職員は配置されないため、プロジェクト実施におけるC/Pの主体的関与が重要になる。プロジェクト実施にあたっては、地域レベルの実施・運営も含めてC/Pの主体性、意欲を引き出し、プロジェクト終了後も地域内、国内のネットワークが持続するように留意すべきである。

(2) JICA 組織全体の支援体制

原則としてC/Pの主体性を尊重するとはいえ、国レベル及び地域レベルの実施・運営体制がプロジェクト開始後速やかに立ち上がり、適切に機能するようJICA側がC/Pを支援する必要がある。国レベル、地域レベルのプロジェクト運営に対してJICA本部だけでなく在外事務所、地域支援事務所の積極的支援、助言を期待したい。

(3) 事前調査結果の整理

PDMは6ヶ国共通のものを設定した。各国の具体的活動内容については、ガイドライン*に例示するに止め、各国別のPO、APOはプロジェクト開始後に必要に応じて追加的調査を行い、日本側長期専門家とC/Pの協議を経て策定することとしている。

このため、日本側長期専門家に的確な情報を伝達することを視野に入れ、第一次調査結果も含め事前評価調査内容を十分に整理しておく必要がある。

* ガイドライン：PDM（各国共通）とPO（各国でそれぞれ作成）との大幅な乖離を防ぐため、各国共通に求められる主要な具体的活動を示したもの。PDMとPOの中間に位置する。

(4) 活動区域の絞込み

第一次調査においてC/Pとも十分協議した上で各国のパイロットサイトを選定したが、州、省又は県など相当広域である。投入できるリソースの制約を考慮すると郡又は村レベルの実質的活動区域をプロジェクト開始後に設定する必要がある。このための情報を、既存の調査結果を中心にプロジェクト開始前に整理しておくことが望ましい。

(5) RDの署名

今回、M/MにドラフトRDを添付して合意、署名したことから、実質的にRDに記述される内容は確定している。RDの署名方法については、各国の公式な承認行為の完了時期にバラツキが見込まれることを考慮すると、対象国が一堂に会して行うのではなく、各国ごとに個別で行うのが望ましいと考えられる。この場合、JICA側の署名者は原則として各国在外事務所長を想定している。

なお、マレーシア事務所から、独立行政法人化後の JICA の事業開始手続きは MM で十分なはずであり、RD 署名は不要ではないかとの問題提起があった。

(6) プロジェクトの早期開始

今回訪問したマレーシアにおいても鳥インフルエンザが 6 月上旬に発生するなど、越境性の家畜疾病防除は東南アジア地域において引き続き喫緊の課題となっている。JICA 内部の理事会付議、決裁、各国との RD 署名、日本側長期専門家の選定等のプロセス又は手続きは出来る限り迅速に行い、プロジェクトを早期に開始すべきである。

第3章 調査結果

3-1 マレーシア

* EPU との協議は先方の都合により急遽キャンセルとなった。

(1) マレーシア農業省獣医サービス局 (DVS) との協議

① 本年 1～2 月に実施した事前調査（第一次）の際に合意に至らなかったプロジェクト運営実施体制（案）*について、JICA 側で検討した新たな案を資料に基づき説明し、マレーシア側から了解を得た。

* 国レベルでは対象各国にそれぞれ National Coordinating Committee を、地域レベルでは Regional Joint Coordinating Committee を設置するとともに、地域レベルの活動の調整を目的に Regional Project Secretariat を設ける案。（別紙 3 参照、ただし説明には英文資料を使用）

② 6/19（火）、20（水）に各国代表者が参加の上、バンコクで Wrap Up 会合を開催したが、そのための M/M（案）の説明を行い、基本的に了承を得た（上記プロジェクト運営実施体制案に加え、PDM 修正案、R/D 案など）。また、細部に関してコメントがある場合にはバンコクでの会合時に改めて受けることとした。

* その後、6/19（火）の Wrap Up 会合への出席は急遽キャンセルとなったが、6/20（水）の MM 署名式には DVS 局長（Dr. Abd. Aziz B. Jamaluddin）が出席

③ 協力開始後のマレーシアでのプロジェクト活動に関して以下の意見交換を行った。

・ マレーシア側から、本プロジェクトのパイロットサイトとなるジョホール州にある Regional Laboratory は中央ラボ（Veterinary Research Institute:イポー）より技術レベルが大きく劣ること、また同州は養鶏が盛んであることから、特に鶏の主要疾病であるニューカッスル病への取り組み体制を強化するため日本人専門家の派遣及び必要な機材供与についてリクエストがあった（一定の技術レベルに達した場合、他の対象国への専門家派遣や技術研修の実施によりプロジェクトへの貢献も期待できるとのこと）。JICA 側からは、① 長期専門家はタイを拠点に活動する予定であるものの、出張ベースでマレーシアでの活動実施は可能、② マレーシアへの短期専門家の派遣や機材供与など詳細な投入計画については、協力開始後の現地調査及びマレーシア側との協議を踏まえて固める予定、である旨を回答した。

・ ジョホール州ではニューカッスル病を撲滅するキャンペーンを実施中であり、同州にある 8 つの District のうち 1 つの District では 4 回のワクチン接種が完了し、ほぼキャンペーンが終了したとのこと。マレーシア側では今後他の District に展開していく予定であることから、その際に当該プロジェクトとの連携の可能性を探っていくこととなった。

④ その他、6 月 2 日にセランゴール州で発生した鳥インフルエンザについて説明があった。鶏の移動規制や淘汰（殺処分）を実施するなど、迅速かつ的確に必要な対策を講じている様子であった。

3-2 タイ

(1) タイ農業・協同組合省畜産振興局（DLD）との協議

- ① 第一次調査時から懸案となっていたプロジェクト運営実施体制（案）について、DLD 側での検討の結果、日本側の提案に合意する旨の回答を得た。TICA 側も基本的に合意しているとのことであった。ただし、調査団からは、翌日の Wrap Up 会合では日本側から本案を提案するものの、最終的には対象各国で協議の上で決定して欲しい旨を伝えた。
- ② PDM、ガイドラインの一部修正についてタイ側から了承を得た。
- ③ MM 案に関して、一部細かい点でコメントが出された（RD 案において日本・タイ政府間で締結している技術協力協定のカバーする範囲を明確にする表現に改めること、他）。いずれも調査団側で受け入れ可能な事項であったことから、翌日の Wrap Up 会合にはタイ側のコメント反映させた MM 案をもって臨むこととした（6ヶ国すべての MM にコメントを反映）。

(2) 各国代表者参加による Wrap Up 会合

平成 19 年 6 月 19 日（火）に対象各国代表者の招集の上、Wrap Up 会合を開催した。主な内容は以下のとおりである。

① 協力計画の一部見直しについて

調査団側から、ア）PDM の一部修正（一部活動の見直し、指標及び指標の入手手段の設定等）イ）Guideline の修正（具体的な活動の提示）を提案し、いずれも対象国側から了承を得た。

なお、対象各国側から以下の要望が挙げられた。

- ・ラオス代表者から、日本人専門家、地域専門家（Regional Experts：対象国の人材の専門家としての派遣）の派遣を通じて、地方ラボのスタッフ及び疫学調査に関わるスタッフに対する in-country training を実施して欲しい旨の要望が挙げられた。
- ・対象国側から、フェーズ 2 では JICA 事業への関わりが少なかった人物が National Coordinator (NC) に任命されるケースも予想されることから、協力開始後まず各国 NC を対象に JICA 事業のプロジェクト運営管理の方法（PDM、Guideline、PO の説明及びプロジェクト運営管理への活用方法など）に関する研修を実施して欲しい旨の要望が挙げられた。
- ・家畜疾病情報体制の強化（成果 2）に関して、国により家畜疾病に係るレポートングシステムや情報の分析方法、分析結果の発信方法が大きく異なることから、対象国間での情報共有のあり方については、協力開始後日本人長期専門家とともに具体的な方策を検討していくこととなった。

② プロジェクト運営実施体制について

まず調査団側からプロジェクト運営実施体制案の提案を行った。その後対象国側が本案を基に意見交換を行った結果、調査団側の提案のとおりア）国レベルでは対象各国にそれぞれ National Coordinating Committee (NJCC) を、イ）地域レベルでは Regional Joint Coordinating Committee (RJCC) を設置するとともに、ウ）地域レベルの活動の調整を目的に Regional Project Secretariat (RPS) を設け PRS には Regional Coordinator (RC) を DLD

から任命する案で合意に至った。なお、タイ側によると RC には Dr. Chantanee Buranathai (フェーズ 1 NC) が任命される見込みとのことであった。また、各国の NJCC メンバーについては各国で検討の上、追って日本側に連絡願い旨を伝えた。

なお、対象各国側から以下の要望が挙げられた。

- ・日本政府と各国政府との間の技術協力協定の有無により日本側投入（専門家派遣、機材、研修など）に係る手続きの進め方が大きく異なることから（協定有：プロジェクトによる投入計画作成のみで要請書なし（外交チャンネル必要なし）、協定なし：要請書要（外交チャンネル要））、対象国側から協力開始後混乱を来たさないか懸念が示された。このことを受けて、対象国側から長期専門家には JICA 事業に精通した人材を派遣して欲しい旨の要望が出された。
- ・プロジェクトでの研修やワークショップの実施に関して、フェーズ 1 では協力の途中段階から招待状の発出等にタイ外務省（TICA）を介すこととなった結果、本来プロジェクトの C/P 向けであるにもかかわらず情報が適切な部局に伝達されなかったケース、情報の伝達が著しく遅れたケースなどが紹介された。加えて情報の受け手側（タイ以外の国）の問題による情報伝達の遅延も紹介された。フェーズ 2 ではこのようなことが生じぬよう、情報伝達のあり方について改めて協議し明確化することとなった。

③ MM に係る協議

対象各国側からのコメントを踏まえて一部細かい修正を行うこととなったものの、主要内容についてはすべて各国から合意が得られた。

また、MM 上の各国側による予算措置に係る項目をめぐって、カンボジア代表者から財政事情の逼迫を理由にカンボジア側による予算措置は困難との見解が示された。他方、調査団側からは、一定の財政的措置すらもなされない場合、プロジェクトの持続性を脅かすこととなることから、可能な範囲で対応する姿勢が求められる旨を伝えた。この結果、当初本会合に出席しているカンボジア代表者が MM に署名する予定であったものの、署名はより上位の職位の者に委ねたいとし、自国に持ち帰り局長（家畜衛生生産局）による署名をもって対応することとなった。

各国持ち回りで実施する Regional Joint Coordinating Committee に関して、MM 上では必要に応じ最低 1 年に 1 回開催する旨が示されているが、全ての国で開催できるよう半年に 1 回開催する案も示された。この点については、協力開始後に改めて検討することとなった。

④ その他

各国の家畜衛生分野に対する政策・戦略（各国における当該分野の重要性の把握）及び本プロジェクトの予想される受益者数を把握するため、各国代表者に質問表を配布し追って回答するよう依頼した。

(3) MM 署名

平成 19 年 6 月 20 日に、別添 MM をもって日本側調査団長及び 6 ヶ国各国代表者との間で個別に MM の署名がなされた。

なお、カンボジア、ラオス、ベトナムに関しては、出席者が MM への署名権限を有し

ていない（ラオス、ベトナム）及びより上位の職位の者に判断を委ねることとなった（カンボジア）ため、日本側調査団長のみ署名し、MM は各国に持ち帰り署名することとなった。その後いずれの国も変更なく M/M 署名を了した。

付属資料 II

1. ミニッツ（日・タイ署名版のみ）
2. 調査日程
3. プロジェクトの基本的な枠組み
4. プロジェクト運営実施体制

**MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPANESE SECOND PREPARATORY STUDY TEAM AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE KINGDOM OF THAILAND
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR REGIONAL COOPERATION PROJECT FOR ANIMAL DISEASE CONTROL
AMONG CAMBODIA, LAO P.D.R., MALAYSIA, MYANMAR, THAILAND AND VIETNAM
(ADC PROJECT PHASE 2)**

The Japanese Second Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hiroaki Okuchi, visited Malaysia and the Kingdom of Thailand from June 13 to June 21, 2007 for the purpose of working out the framework of the technical cooperation program concerning the Regional Cooperation Project for Animal Disease Control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam(ADC Project Phase 2) (hereinafter referred to as "the Project").

During the study, the Team exchanged views and had a series of discussions with Thai authorities concerned as well as the authorities concerned of other member countries in respect of the measures to be taken by the governments of respective member countries for the smooth implementation of the Project.

As a result of the discussions, the both sides agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, Kingdom of Thailand, June 20, 2007



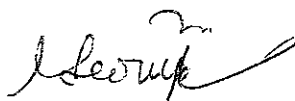
Mr. Hiroaki Okuchi

Team Leader

Second Preparatory Study Team

Japan International Cooperation Agency

Japan



Dr. Chaweewan Leowijuk

for Director General

Department of Livestock Development

Ministry of Agriculture and Cooperatives

The Kingdom of Thailand

ATTACHED DOCUMENTS

I. BACKGROUND OF THE PROJECT

Recently, political and economic situation in member countries has become stabilized and improved, and the distribution of agricultural products across the border has been promoted. Especially, the cross-border movement of livestock has been increasing, and the condition of animal health has been threatened with insufficient organizational and technical system to manage and control the spreading of animal disease in these areas. Therefore, Japan-Thailand Technical Cooperation Project for Animal Disease Control in Thailand and neighboring countries (hereinafter referred to as "the Phase1 Project") had been implemented from December 2001 to December 2006.

As a result of the Phase1 Project, regional cooperation system and resources for animal disease control were strengthened, and the technologies of animal disease control were improved. At the same time, it was confirmed that member countries had an intention commonly to enhance the surveillance capacity as a next step.

Based on the background above, member countries made a new request to the government of Japan for the next phase of the project aimed at strengthening the surveillance capacity for animal diseases. In response to the request, JICA sent the first preparatory study team for all member countries from January 31, 2007, to March 1, 2007, and exchanged views with relevant authorities of each member country. As a result, the tentative Project framework has been agreed among all member countries.

However, JICA study team and member countries could not reach a consensus on the Project implementation and coordination structure, and further discussions are still required prior to the inauguration of the Project.

II. PURPOSE OF THE PREPARATORY STUDY

1. To reach an agreement on the Project implementation and coordination structure among all member countries.
2. To further discuss the tentative Project Design matrix (PDM), which has been basically agreed among all member countries in the first preparatory study, and revise it for elaboration.
3. To summarize a series of results of the study to M/M, which includes the draft R/D, and sign it between the Team and each member country respectively.

III. TENTATIVE FRAMEWORK OF THE PROJECT

As a result of a series of discussions through the second preparatory study, all member countries have reached a consensus on the further revised tentative framework of the Project as follows;

1. General aim of the Project

In principle, all member countries are placed in equal position. The regional cooperation will be promoted under the equal partnership among all member countries. In addition, the regional activities will be promoted under the strong initiatives by all member countries. It is expected to establish the regional cooperation system which will be functioning even after the completion of the Project.

The Project will be implemented based on the fruitful outcome of the Phase 1 Project, namely, improvement of techniques on animal disease control at central level. Besides, the Project activities will be promoted at "national level" and "regional level".

At national level, the aim of the Project is, by extending the outcomes of the Phase 1 Project to the lower level, to strengthen the surveillance network between field, local and central level and enhance the technical capacities on animal disease control.

At regional level, the Project aims to strengthen the capacity on regional cooperation network system for animal disease surveillance through sharing the technical resources among member countries under the smooth and effective regional coordination.

2. Project Title

Regional cooperation project for animal disease control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam (ADC Project Phase 2)

3. Project period

Three (3) Years

4. Member Countries

Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam

5. Overall Goal

The surveillance capacity for animal diseases is strengthened among member countries.

6. Project Purpose

The surveillance capacity for animal diseases is strengthened between field, local and central level in each member country.

09

ls

7. Outputs

(1) Output 1: The capacity on regional cooperation network system for animal disease surveillance is strengthened

- 1) To formulate annual plans including regional activities such as dispatch of regional experts, organizing regional workshops/trainings/study tours in member countries.
- 2) To implement, monitor and evaluate the regional Project activities.
- 3) To share the information of animal diseases among member countries

(2) Output 2: The surveillance information system for animal disease is strengthened in each member country

- 1) To strengthen information network system between each level (field, local and central level)
- 2) To Utilize the results of diagnosis at related animal health organizations (field, local and central level) and animal quarantine points as animal disease information (Passive Surveillance).
- 3) To conduct the epidemiological survey on the specific diseases at selected areas (Active Surveillance)

(3) Output 3: The surveillance techniques for animal diseases are strengthened in each member country

- 1) To improve diagnostic techniques on animal diseases at related animal health organizations (field, local and central level)
- 2) To improve diagnostic techniques at animal quarantine points.
- 3) To strengthen technical advice and diagnostic services for rural livestock farmers by related animal health organizations.
- 4) To strengthen the preparation techniques of diagnostic reagents and its supplying system

*excluding the veterinary biologics produced on commercial basis

8. Pilot Sites

Mae Hong Son Province

*Specific site(s) will be selected after the inauguration of the Project.



IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

As a result of a series of discussions, the followings have been agreed among all member countries.

1. Dispatch of Japanese Experts

JICA will provide the services of the Japanese experts listed in Annex IV.

2. Provision of Machinery and Equipment

JICA will provide such machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project. Content, specifications, and quantity of the equipment and necessary equipment will be decided through mutual consultations within the allocated budget of each Japanese fiscal year.

3. Counterpart and Related Personnel

Member countries will provide the services of counterpart personnel and related personnel as listed in Annex V.

4. Buildings and Facilities

Member countries will provide the buildings and facilities listed in Annex VI.

5. The Project Implementation and Coordination Structure

(1) At national level

1) National Joint Coordinating Committee (NJCC)

For the effective and successful implementation of the Project at national level, National Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "NJCC") will be established in each member country. The function and composition of NJCC are described in Annex VII.

(2) At regional level

1) Regional Joint Coordination Committee (RJCC)

For the effective and successful implementation of the Project at regional level, Regional Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "RJCC") will be established. The function and composition of RJCC are described in Annex VIII.

2) Regional Project Secretariat (RPS)

For smooth logistic and implementing coordination of the Project activities at regional level, Regional Project Secretariat (hereinafter referred to as "RPS") will be set up

in Department of Livestock Development, Ministry of Agriculture and Cooperatives, Thailand, (hereinafter referred to as "DLD, Thailand"). Regional Coordinator (hereinafter referred to as "RC") will be assigned and attached to RPS in order to facilitate the role of RPS effectively and efficiently. The function and composition of RPS are described in Annex IX.

V. UNDERTAKINGS AND RECOMMENDATIONS

The Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D") of the Project will be signed between representative of JICA and representative of each member country respectively. R/D will be signed between representative of JICA and the Director General, Department of Livestock Development, the Ministry of Agriculture and Cooperatives (hereinafter referred to as "DLD, Thailand"). Draft R/D is shown in Annex X.

VI. OTHER REMARKS

- (1) It is expected that authorities concerned in each member country would be positively involved in the Project activities for the smooth implementation and, furthermore, the fruitful achievement of the aim of the Project.
- (2) It is recommended that Malaysia and Thailand, as the technically leading countries, would greatly contribute to the fruitful achievement of the aim of the Project.

ANNEX

ANNEX I	Tentative Project Design Matrix (PDM)
ANNEX II	Tentative Guideline for the Project Activities
ANNEX III	Tentative Schedule of Implementation (TSI)
ANNEX IV	Tentative List of Japanese Experts
ANNEX V	Assignment of Counterpart and Related Personnel (Tentative)
ANNEX VI	Tentative List of Buildings and Facilities
ANNEX VII	National Joint Coordinating Committee (NJCC) (Tentative)
ANNEX VIII	Regional Joint Coordinating Committee (RJCC) (Tentative)
ANNEX IX	Regional Project Secretariat (RPS) (Tentative)
ANNEX X	Draft Record of Discussions (Draft R/D)



ANNEX 1: Tentative Project Design Matrix (PDM)

Name of the project: Regional Cooperation Project for Animal Disease Control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam (ADC Project Phase 2)

Target Countries: Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam

Project Sites: Pilot sites selected at field and local level as well as related authorities on animal health at central level in each member country

Target Group: Staff of the related animal health organizations and animal quarantine points, and rural livestock farmers in each member country

Project Period: 2007-2010

June, 2007 PDM Over2			
Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<u>Overall Goal:</u> The surveillance capacity for animal diseases is strengthened among member countries.	Establishment of sustainable structure in the field of animal diseases among member countries	1) Project Impact Survey Reports	Suitable policy on animal disease surveillance is applied in each member country.
<u>Project Purpose:</u> The surveillance capacity for animal diseases is strengthened between field, local and central level in each member country.	1) Number of staffs who have enough capacity on animal disease surveillance 2) Number of epidemiological data collected and analyzed in each member country	1) Interviews for related animal health organizations, Project Monitoring Reports, 2) Annual Reports from animal health departments, Interviews for related animal health organizations, Project Monitoring Reports,	1. Suitable policy on animal disease surveillance is applied in the pilot site. 2. No catastrophic disease outbreaks in the pilot sites.
<u>Output:</u> Output 1: The capacity on regional cooperation network system for animal disease surveillance is strengthened. Output 2: Surveillance information system for animal diseases is strengthened in each member country. Output 3: Surveillance techniques for animal diseases are strengthened in each member country.	1-1 Number of regional workshops held among member countries 1-2 Number of trainings and study tours set up at regional level 1-3 Number of regional experts exchanged among member countries 1-4 Frequency of information sharing on animal diseases among member countries. 2-1 Establishment of the appropriate information network system connecting field, local and central level in each member country 2-2 Number of newly trained personnel in charge of work related to information of animal disease control 2-3 Number of data on animal diseases collected in the pilot site through passive and active surveillance 3-1 Number of standard diagnostic methods improved or newly adopted at related animal health organization 3-2 Number of technicians at related animal health organizations, who take part in the training course 3-3 Number of standard diagnostic methods improved or newly adopted at animal quarantine points 3-4 Number of times related animal health organizations provide rural livestock farmers with technical advice and diagnostic services 3-5 Number of diagnostic reagents newly produced or utilized at field, local and central level	1-1 Workshop Reports, Project Monitoring Reports 1-2 Training and Study Tour Reports, Project Monitoring Reports 1-3 Reports by the Regional Experts, Project Monitoring Reports 1-4 Project Monitoring Reports 2-1 Project Monitoring Reports 2-2 Training Reports, Project Monitoring Reports 2-3 Project Monitoring Reports, 3-1 Interviews for related animal health organizations, Project Monitoring Reports 3-2 Training Reports, Project Monitoring Reports 3-3 Interviews for animal quarantine points, Project Monitoring Reports 3-4 Activity Reports, Project Monitoring Reports 3-5 Interviews for the organization producing diagnostic reagents, Project Monitoring Reports	Villagers and related authorities in the pilot site collaborate with the project.

<p><u>Activities:</u></p> <p>Activities 0:</p> <p>0-1 To agree upon the basic concept and design of the Project in each member country</p> <p>0-2 To review the current surveillance mechanism, particularly at local and field level in each member country</p> <p>0-3 To confirm the model area in the pilot site in each member country, and determine the site activities</p> <p>Activities 1:</p> <p>1-1 To formulate annual plans including regional activities such as dispatch of regional experts, organizing regional workshops/trainings/study tours in member countries.</p> <p>1-2 To implement, monitor and evaluate the regional Project activities.</p> <p>1-3 To share the information of animal diseases among member countries</p>	<p><u>Input</u></p> <p>Japan</p> <p>1. Dispatch of Japanese Experts</p> <p>1) Long-term Experts</p> <p>Chief Advisor</p> <p>Project Coordinator</p> <p>Expert in the technical field of Animal Disease Control</p> <p>2) Short-term Experts</p> <p>2. Provision of machinery and equipment</p> <p>3. Acceptance of trainees</p> <p>1) Training in Japan</p> <p>2) Training in member countries</p> <p>Member Countries (Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam)</p> <p>1. Provision of building and facilities</p> <p>2. Arrangement of C/Ps</p> <p>National Project Director</p> <p>National Project Manager</p> <p>National Coordinator</p> <p>Other necessary personnel</p> <p>3. Dispatch of regional experts to other member countries</p> <p>4. Acceptance of trainees from other member countries</p> <p>5. Cost for administration of project coordination</p>	
<p>Activities 2:</p> <p>2-1 To strengthen information network system between each level (field, local and central level)</p> <p>2-2 To utilize the results of diagnosis at related animal health organizations (field, local and central level) and animal quarantine points as animal disease information (Passive Surveillance)</p> <p>2-3 To conduct the epidemiological survey on the specific diseases at selected areas (Active Surveillance)</p> <p>Activities 3:</p> <p>3-1 To improve diagnostic techniques on animal diseases at related animal health organizations (at field, local and central level)</p> <p>3-2 To improve diagnostic techniques at animal quarantine points</p> <p>3-3 To strengthen technical advice and diagnostic services for rural livestock farmers by related animal health organizations</p> <p>3-4 To strengthen preparation techniques of diagnostic reagents and its supplying system (*excluding the veterinary biologics produced on commercial basis)</p>		
		<p><u>Preconditions:</u></p> <p>1. Member countries maintain good international relations.</p> <p>2. Regional network system of the phase 1 project is maintained.</p> <p>3. The Government of each member country secures the allocation of human resources and budget for the project.</p>

Draft concept on regional cooperation project for animal disease control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam (ADC Project Phase 2)

New Project

Overall Goal: Strengthening Animal Disease Control
Among Member Countries

**Project Purpose :Strengthening Animal Disease Surveillance
Capacity between Field, Local and Central Level**

1. Strengthening Capacity on Regional Cooperation Network System for Animal Disease Surveillance

Regional Level

- Formulating annual plans including regional activities, implementing, monitoring and evaluating the activities
- Sharing information on animal diseases among member countries

2.Strengthening Surveillance Information System

National Level

- Strengthening the network between field, local, and central level
 - Utilizing the results of diagnosis as animal disease information (Passive Surveillance)
 - Epidemiological survey on specific diseases (Active surveillance)
- ### 3. Strengthening Surveillance Techniques
- Improving diagnostic techniques at animal health organizations (field, local, central)
 - Improving diagnostic techniques at animal quarantine points
 - Strengthening technical advice and diagnostic services for rural livestock farmers
 - Strengthening supply system of diagnostic reagents

Phase 1

Construction of regional network system
Establishment of basic techniques

**Improving Techniques of Animal Disease Control
(Capacity building of central research institutes)**

ANNEX II: Guideline for Project Activities in each country (tentatively)
on the Regional Cooperation Project for Animal Disease Control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam (ADC Project Phase 2)

Narrative Summary

Project Purpose:

The surveillance capacity for animal diseases is strengthened between field, local and central level in each member country.

Output:

- Output 1: The capacity on regional cooperation network system for animal disease surveillance is strengthened.
- Output 2: Surveillance information system for animal diseases is strengthened in each member country.
- Output 3: Surveillance techniques for animal diseases are strengthened in each member country.

Activities:

The below activities are just as a brief guideline for expecting activities in the country. These indicate the possible design of the project activities in each country.

Detailed activities will be discussed among the country representatives and Japanese experts, and be finally determined after the project starts.

- Activities 1 (In order to strengthen the capacity on regional cooperation network system for animal disease surveillance)
 - To cooperate with Regional Project Secretariat(RPS) for smooth implementation of the regional project
 - To hold Regional Joint Coordination Committee(RJCC) as the host country
- Activities 2 (In order to strengthen the surveillance information system for animal diseases)
 - (Improvement of structure)
 - To make master plan of surveillance information system(ex. data collection, sampling, reporting)
 - To establish a structure of surveillance information system(ex. data collection, sampling, reporting)
 - To confirm a procedure of information exchange between related organizations
 - To make format paper to fill in surveillance information
 - (Training on information system)
 - To conduct training on information system for local laboratory technicians
 - To conduct training on information system for veterinarians of district veterinary station
 - To conduct training on information system for field animal health workers
 - To conduct training on information system for animal quarantine officers (surveillance)
 - To utilize results of diagnosis in the field and at animal quarantine station as animal disease information (To do passive surveillance)
 - To conduct epidemiological survey on specific diseases in the field (To do active surveillance)

Activities 3 (In order to Strengthen the surveillance techniques for animal diseases)

- (Improvement of diagnostic ability)
 - To improve diagnostic ability on animal diseases at local laboratory
 - To improve diagnostic ability on animal diseases at field veterinary station.
 - To improve diagnostic ability on animal diseases at animal quarantine station.
- (Training on diagnostic techniques)
 - To conduct training on diagnostic techniques for local laboratory technicians
 - To conduct training on diagnostic techniques for veterinarians of district veterinary station
 - To conduct training on diagnostic techniques for field animal health workers
 - To conduct training on diagnostic techniques for animal quarantine officers
- (Public awareness)
 - To make posters or brochures on animal health and deliver them to farmers
 - To hold workshop on animal health for farmers
- (Diagnostic reagents)
 - To produce diagnostic reagents for animal diseases
 - To strengthen supply system of diagnostic reagents for animal diseases

ANNEXIII: Tentative Schedule of Implementation (TSD)

ANNEXIII: Tentative Schedule of Implementation (1.SI)

Activities	Before Project	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
0-1 To agree upon the basic concept and design of the Project in each member country																																					
0-2 To review the current surveillance mechanism, particularly at local and field level in each member country																																					
0-3 To confirm the model area in the pilot site in each member country, and determine the site activities																																					
Output 1: The capacity on regional cooperation network system for animal disease surveillance is strengthened.																																					
1-1 To formulate annual plans including regional activities such as dispatch of regional experts, organizing regional workshops/trainings/study tours in member countries.																																					
1-2 To implement, monitor and evaluate the regional Project activities.																																					
1-3 To share the information of animal diseases among member countries.																																					
Output 2: Surveillance information system for animal diseases is strengthened in each member country.																																					
2-1 To strengthen information network system between each level (field, local and central level)																																					
2-2 To utilize the results of diagnosis at related animal health organizations (field, local and central level) and animal quarantine points as animal disease information (Passive Surveillance)																																					
2-3 To conduct the epidemiological survey on the specific diseases at selected areas (Active Surveillance)																																					
Output 3: Surveillance techniques for animal diseases are strengthened in each member country.																																					
3-1 To improve diagnostic techniques on animal diseases at related animal health organizations (at field, local and central level)																																					
3-2 To improve diagnostic techniques at animal quarantine points																																					
3-3 To strengthen technical advice and diagnostic services for rural livestock farmers by related animal health organizations																																					
3-4 To strengthen preparation techniques of diagnostic reagents and its supplying system																																					

ANNEX IV TENTATIVE LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Long-term Experts and their duties

- 1) Chief Advisor
- 2) Project Coordinator
- 3) Expert in the technical field of Animal Disease Control

Long-term experts will be stationed in DLD, Thailand, and provide advice and technical assistance for the Project activities collaborating with National Coordinators and RC as well as NJCCs and RJCC.

2. Short-term Expert(s)

Short-term experts will be dispatched as and when necessary according to the requirements established within the Project framework.

Note: The fields, number and terms of assignment of experts will be decided in consideration of the progress of the Project through mutual consultations including the NJCC and RJCC during each Japanese Fiscal Year.

ANNEX V ASSIGNMENT OF COUNTERPART AND RELATED PERSONNEL (TENTATIVE)

1. Counterpart Personnel

Suitably qualified personnel will be assigned to Japanese experts and regional experts for the Project activities.

2. Administrative Personnel

- 1) Administrative staff
- 2) Secretaries
- 3) Drivers
- 4) Other support staff mutually agreed upon as necessary

3. Other personnel mutually agreed upon as necessary

UG

ll

ANNEX VI TENTATIVE LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

1. Buildings and facilities necessary for the implementation of the Project
2. Rooms and space necessary for installation and storage of the Equipment
3. Office space and necessary facilities for the Japanese experts, regional experts and related staff members
4. Other facilities mutually agreed upon as necessary

ANNEX VII NATIONAL JOINT COORDINATING COMMITTEE (NJCC) (TENTATIVE)

1. FUNCTION

National Joint Coordinating Committee (NJCC), composed of members listed in 2 below, will meet whenever the necessity arises (at least once a year) to:

- (1) adopt the Annual Work Plan at national level under the framework of the Record of Discussions
- (2) review the overall progress of the technical cooperation program as well as achievement of the Annual Work Plan of the Project at national level
- (3) review measures taken by the Government of Japan at national level on:
 - 1) Dispatch of Japanese experts
 - 2) Acceptance of counterpart personnel in Japan for training
 - 3) Provision of machinery and equipment
- (4) review measures taken by the Government of the Kingdom of Thailand on:
 - 1) Allocation of necessary budget (including local cost expenditures)
 - 2) Allocation of necessary counterpart personnel
 - 3) Utilization and administration of machinery and equipment provided by the Government of Japan
 - 4) Dispatch of regional experts from Thailand
 - 5) Acceptance of Counterpart Personnel from member countries for training
- (5) make recommendations to the Government of the Kingdom of Thailand on:
 - 1) Budgetary matters
 - 2) Recruitment and appointment of counterpart personnel
 - 3) Selection and effective utilization of machinery and equipment
 - 4) Appropriate dispatch of regional experts
 - 5) Providing trainings for counterpart personnel from member countries
- (6) Others

2. COMMITTEE COMPOSITION (Thailand)

- (1) Chairperson

National Project Director of Thailand



(2) Members:

National Project Manager of Thailand

National Coordinator of Thailand

Persons of authorities concerning animal health

Persons of authorities concerning the external assistance (TICA)

Japanese experts

Representative of JICA Thailand Office

(3) Observers

Officials of the Embassy of Japan in Thailand

Persons who are nominated by Chairperson

ANNEX VIII REGIONAL JOINT COORDINATING COMMITTEE (RJCC) (TENTATIVE)

1. FUNCTION

The Regional Joint Coordinating Committee (RJCC), composed of members listed in 2 below, will meet whenever the necessity arises (at least once a year) to:

- 1) adopt the Annual Work Plan at regional level under the framework of the R/D of six member countries.
- 2) review the overall progress of the technical cooperation program as well as achievement of the Annual Work Plan of the Project at regional level.
- 3) review measures taken by the Government of Japan on:
 - (1) Dispatch of Japanese experts
 - (2) Acceptance of counterpart personnel in Japan for training
 - (3) Provision of machinery and equipment
- 4) review measures taken by the Government of member countries on:
 - (1) Allocation of necessary budget (including local cost expenditures)
 - (2) Allocation of necessary counterpart personnel
 - (3) Utilization and administration of machinery and equipment provided by the Government of Japan
 - (4) Dispatch of regional experts
 - (5) Acceptance of Counterpart Personnel from member countries for training
- 5) make recommendations to the respective Governments on:
 - (1) Budgetary matters
 - (2) Recruitment and appointment of counterpart personnel
 - (3) Selection and effective utilization of machinery and equipment
 - (4) Appropriate dispatch of regional experts
 - (5) Providing trainings for counterpart personnel from member countries
- 6) Others

2. COMMITTEE COMPOSITION

(1) Chairperson:

National Project Director of the country, in which RJCC meeting is organized

(2) Members:

Six (6) National Project Directors of member countries

Japanese Experts

Representative of JICA Overseas Office in which RJCC is organized

(3) Observers

Six (6) National Coordinators of member countries

Regional Coordinator

Persons of relevant authorities in the country in which a RJCC meeting is organized (e.g. persons of authorities concerning animal health and external assistance, etc)

Embassy of Japan of the country in which RJCC meeting is organized

Persons who are nominated by Chairperson

Notes:

(1) Host country of the RJCC meeting will be rotated among member countries.

ANNEX IX REGIONAL PROJECT SECRETARIAT (RPS) (TENTATIVE)

1. FUNCTION

The Regional Project Secretariat (RPS), composed of members listed in 2 below, will be set up in order to:

- 1) make various kinds of secretarial and preparation works (e.g. dispatch of regional experts, acceptance of trainees, organizing workshops, etc)
- 2) share information on the national Project activities among member countries
- 3) make necessary adjustment/matching between actual needs at national level and what can be done by other member countries
- 4) make any other logistic and implementing coordination for promoting Project activities at regional level
- 5) others

2. COMPOSITION

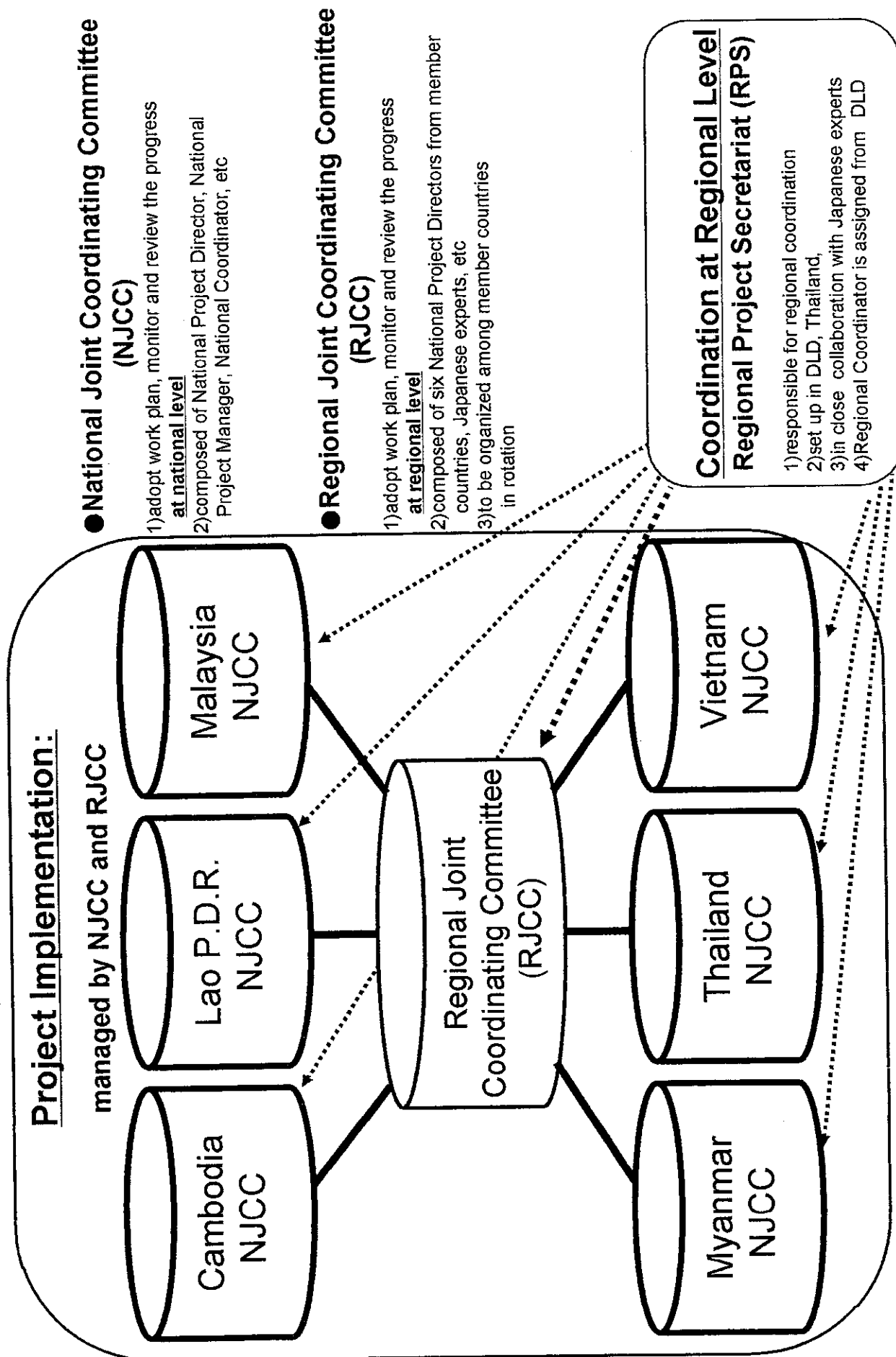
Regional Coordinator (RC)

RC will be assigned and attached to RPS in order to facilitate the role of RPS effectively and efficiently

Japanese Experts

Supporting Staff (e.g. Secretary)

Project Implementation and Coordination Structure at National and Regional Level



(Draft)
**RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE KINGDOM OF THAILAND
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR REGIONAL COOPERATION PROJECT FOR ANIMAL DISEASE CONTROL
AMONG CAMBODIA, LAO P.D.R., MALAYSIA, MYANMAR, THAILAND AND VIETNAM
(ADC PROJECT PHASE 2)**

In response to the request of the Government of the Kingdom of Thailand, as well as the Royal Government of Cambodia, the Government of Lao People's Democratic Republic., the Government of Malaysia, Government of the Union of Myanmar and the Government of the Socialist Republic of Vietnam, the Government of Japan has decided to cooperate Regional Cooperation Project for Animal Disease Control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam(ADC Project Phase 2) (hereinafter referred to as "the Project"). The Project implemented in the Kingdom of Thailand will be in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of Thailand signed on November 5, 1981 (hereinafter referred to as "the Agreement") and the Verbal Note on the Project by Embassy of Japan dated on XXXX and by Thai International Development Cooperation Agency dated on XXXX. In addition, regional activities will be conducted in collaboration with other member countries.

Accordingly, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the executing agency responsible for the implementation of the technical cooperation program of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Government of Thailand for the Project.

JICA and the Thai authorities concerned had a series of discussions on the framework of the Project as well as the authorities concerned of other member countries. As a result of the discussions, JICA and the Department of Livestock Development, the Ministry of Agriculture and Cooperatives (hereinafter referred to as "DLD,Thailand"), agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

, XXXX, 2007

Japan International Cooperation Agency
Japan

Director General
Department of Livestock Development
Ministry of Agriculture and Cooperatives
The Kingdom of Thailand



THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION AT NATIONAL AND REGIONAL LEVEL

I.-1. Cooperation at national level (between Thailand and Japan)

1. The Government of the Kingdom of Thailand will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.
3. JICA will support the Government of the Kingdom of Thailand in strengthening the capability of Thai personnel on the animal disease surveillance.

I.-2. Cooperation at regional level (Regional Technical Cooperation)

1. Member countries will jointly implement the regional technical cooperation in cooperation with JICA in the scope of the Project and strengthen the regional cooperation network system for animal disease surveillance.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JAPANESE SIDE

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA will take, at its own expense, the following measures under the technical cooperation scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts listed in Annex II. The provisions of Article IV of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The provisions of Article VIII-1 of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF THAI PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive Thai personnel connected with the Project for technical training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND

1. The Government of the Kingdom of Thailand will dispatch Thai counterpart personnel as regional experts to other member countries for smooth and effective implementation of the Project.
2. The Government of the Kingdom of Thailand will receive the personnel connected with the Project from other member countries to conduct technical training for smooth and effective implementation of the Project.
3. The Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation through the full and active involvement in the Project of all related authorities, beneficiary groups and institutions.
4. The Government of the Kingdom of Thailand will ensure that the technologies and knowledge acquired by Thai nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Kingdom of Thailand.
5. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of the Kingdom of Thailand will grant in the Kingdom of Thailand privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above.
6. In accordance with the provisions of Article VIII of the Agreement, the Government of the Kingdom of Thailand will take the measures necessary to receive and use the Equipment provided by JICA under II-2 above and equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts referred to in II-1 above.
7. The Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by Thai personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
8. In accordance with the provisions of Article VI-(b) of the Agreement, the Government of the Kingdom of Thailand will provide the services of Thai counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.

9. In accordance with the provisions of Article IV-(a) of the Agreement, the Government of the Kingdom of Thailand will provide the buildings and facilities listed in Annex V.
10. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Thailand, the Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above.
11. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Thailand, the Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. As for the Project activities in the Kingdom of Thailand, National Project Director of Thailand will be responsible for planning, implementation, monitoring and evaluation of the Project activities.
2. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the National Project Director of Thailand on any matters pertaining to the Project.
3. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
4. For the effective and successful implementation of the Project at national level, National Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "the NJCC") will be established, whose functions and composition are described in Annex VI.
5. For the effective and successful implementation of the Project at regional level, Regional Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "the RJCC") will be established, whose functions and composition are described in Annex VII.
6. For smooth logistic and implementing coordination of the Project activities at regional level, Regional Project Secretariat (hereinafter referred to as "the RPS") will be set up in DLD, Thailand, whose function and composition are established in Annex VIII.

V. TERM OF COOPERATION

The duration of technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three (3) years from the date of arrival in the Kingdom of Thailand of the first Japanese experts.

VI. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project activities in the Kingdom of Thailand will be conducted jointly by JICA and Thai authorities. Evaluation of overall Project will be conducted jointly by JICA and member countries. Evaluation will be conducted at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Kingdom of Thailand undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Kingdom of Thailand except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Government of the Kingdom of Thailand on any major issues arising from, or in connection with, this attached document.

XI. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Kingdom of Thailand, the Government of the Kingdom of Thailand will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Kingdom of Thailand.

- ANNEX I Master Plan
- ANNEX II Japanese Experts
- ANNEX III Machinery and Equipment

- ANNEX IV Counterpart and Related Personnel
- ANNEX V Buildings and Facilities
- ANNEX VI National Joint Coordinating Committee (NJCC)
- ANNEX VII Regional Joint Coordinating Committee (RJCC)
- ANNEX VIII Regional Project Secretariat (RPS)

Note: The Annex listed above are not attached to the Draft R/D.

事前評価調査（第二次）調査日程

カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ及びベトナムにおける
家畜疾病防除計画地域協力プロジェクト（フェーズ 2）

	調査日程
6/13（水）	移動（成田発→クアラルンプール着）
6/14（木）	マレーシア農業省獣医サービス局との協議
6/15（金）	日本大使館、JICAマレーシア事務所報告
6/16（土）	移動（クアラルンプール発→バンコク着）
6/17（日）	資料整理
6/18（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ側(DLD) との協議(M/M案等) ・各国代表参加の上で実施するラップアップ会合に係る事前打合せ
6/19（火）	ラップアップ会合開催 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト運営実施体制の協議 ・M/M案の協議（PDM、ガイドライン、R/D案等） ・その他（協力開始に先立ち調整すべき事項等）
6/20（水）	AM：M/M署名（署名できない国は持ち帰り） PM：大使館報告、JICAタイ事務所報告 夜：移動（バンコク発→ ）
6/21（木）	移動（ →成田着）

プロジェクトの基本的な枠組みについて

< 案件名 >

(和) カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナムにおける家畜疾病防除計画地域協力プロジェクト (フェーズ 2)

(英) Regional Cooperation Project for Animal Disease Control among Cambodia, Lao P.D.R., Malaysia, Myanmar, Thailand and Vietnam (ADC Project Phase 2)

< 協力期間 >

3 年間

< 対象国 >

カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナムの計 6 カ国

< 上位目標 >

対象 6 ヶ国における疾病監視能力が強化される

< プロジェクト目標 >

対象 6 ヶ国の現場、地方、中央レベルにおける疾病監視能力が強化される

< 成果 >

* 協力開始に先立ち各対象国が行うべき事項

活動 0-1 対象各国がプロジェクトの基本コンセプト及び枠組みについて理解する。

活動 0-2 各対象国において特に現場、地方レベルの現在の監視メカニズムについて検証する。

活動 0-3 パイロットサイト内においてモデルエリアを選定し、活動を決定する。

成果 1 : 家畜疾病監視に係る地域協力ネットワークシステムの能力が強化される

活動 1-1 地域専門家の派遣や地域レベルのワークショップ／研修／スタディツアーの開催等
地域レベルの活動を含めて年間活動計画を策定する。

活動 1-2 地域レベルのプロジェクト活動実施、モニタリング及び評価を行う。

活動 1-3 対象国間で家畜疾病に係る情報が共有される。

成果 2 : 家畜疾病監視情報に係る体制が強化される

活動 2-1 現場・地方・中央の各レベル間のネットワークが強化される。

活動 2-2 現場、地方、中央レベルの家畜衛生関係機関及び家畜検疫ポイントで得られた診断結果を家畜疾病情報として活用する (Passive Surveillance)。

活動 2-3 選定されたエリアにおいて選択された疾病の調査を実施する (Active Surveillance)。

成果 3 : 家畜疾病監視技術が強化される

活動 3-1 現場・地方・中央の各レベルの家畜衛生関係機関のカチクシッペイ診断技術が改善される。

活動 3-2 家畜検疫ポイントのカチクシッペイ診断技術が改善される。

活動 3-3 家畜衛生関係機関による畜産農家に対する技術支援及び診断サービスが強化される。

活動 3-4 診断用製剤に係る製造技術及び供給体制が強化される (ただし、商業ベースでの生産・供給可能な診断用製剤は除く)。

＜パイロットサイト＞

- ・ カンボジア：コンポンチャム州
- ・ ラオス：サバナケット県
- ・ マレーシア：ジョホール州
- ・ ミャンマー：マンドレー管区
- ・ タイ：メイホンソン県
- ・ ベトナム：家畜衛生区域Ⅳ（ダナン省等 6 省）

6. 投入規模

＜総投入予定額＞

4 億円程度（目安）

- * 事前調査の結果を踏まえて投入計画を具体化した後に、改めて総投入予定額の積算を行う。

＜専門家派遣＞

- ・ 長期専門家：3 名を予定（チーフアドバイザー、業務調整、家畜疾病防除）
 - * 各専門家の活動拠点はバンコク（農業・協同組合省畜産振興局）
- ・ 短期専門家：必要に応じ随時派遣する。

＜研修員受入、機材供与及び在外事業強化費＞

必要に応じ適宜投入する。

プロジェクト運営実施体制について

カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ及びベトナムにおける
家畜疾病防除計画地域協力プロジェクト（フェーズ2）

基本方針

- 各国ともすべて同等（タイを含め他国より上位に位置する国はない）。
- 各国の要請によることに鑑み、各国での活動実施を重視（各国の成果が地域の強化となる）。
国レベルでは各国が主体的に方針を策定し活動を実施する。
- 地域レベルでは対象国側による主体的な取組みを推進し、協力終了後も機能する地域レベル
のネットワークシステムを構築する。

プロジェクト運営実施体制

1. 国レベル

- ・ National Joint Coordinating Committee (NJCC) が国レベルの意思決定機関。
- ・ 各国ごとに National Project Director, National Project Manager 及び National Coordinator (NC) を任命する。

○National Joint Coordinating Committee (NJCC)

(1) 機能：国レベルのプロジェクト実施方針を決定する

- ・ 各国における年間活動計画の策定
- ・ 各国における活動の進捗状況の把握
- ・ 日本側及び各国側による投入計画の協議

(2) メンバー構成

1) 議長：National Project Director

2) メンバー

- ・ National Project Manager
- ・ National Coordinator
- ・ 家畜衛生関連部局等実施機関
援助窓口機関（EPU（マレーシア）、TICA（タイ）、MPI（ベトナム）等）
- ・ プロジェクト日本側専門家
- ・ 各国 JICA 事務所

3) オブザーバー

- ・ 各国大使館
- ・ その他議長が任命した者

2. 地域レベル

- ・ 各国代表により構成される Regional Joint Coordinating Committee (RJCC) が意思決定機関。
- ・ 各国による共同運営体制 (RJCC は各国 National Project Director が主要メンバー)。地域レベルでは Project Director, Project Manager は任命しない。
- ・ Regional Project Secretariat (RPS) が地域レベルの調整を行う。

○Regional Joint Coordinating Committee (RJCC)

- (1) 機能：地域レベルのプロジェクト実施方針を決定する
 - ・ 地域レベルでの年間活動計画の策定
 - ・ 地域レベルでの活動の進捗状況の把握
 - ・ 日本側及び対象各国側（第三国専門家、第三国研修を含む）による投入計画の協議
- (2) メンバー構成
 - 1) 議長：開催国の National Project Director
 - 2) メンバー
 - ・ National Project Director（各国から 1 名ずつ）
 - ・ プロジェクト日本側専門家
 - ・ 開催国の JICA 事務所
 - 3) オブザーバー
 - ・ National Coordinator（各国から 1 名ずつ）
 - ・ Regional Coordinator
 - ・ 開催国の関係機関（実施機関、援助窓口機関、他）
 - ・ 開催国の大使館
 - ・ その他議長が任命した者

3. 地域レベルの調整

- ・ Regional Project Secretariat (RPS) を設置し、地域レベルの調整を行う。RPS は日本人専門家が常駐するタイ (DLD) に設置する。
- ・ タイ DLD より Regional Coordinator を任命。

○Regional Project Secretariat (RPS)

- (1) 機能：地域レベルの活動の調整（事務局）
 - 1) 専門家派遣、研修員受入、会議・ワークショップ等に係る諸準備（ロジ業務を含めて）
 - 2) 各国の活動に係る情報共有
 - 3) 各国ニーズ（専門家、研修、機材など）とリソースのマッチング
 - 4) その他地域レベルの活動促進に資する調整業務
- (2) メンバー構成
 - ・ Regional Coordinator (to be assigned from Thailand：常駐)
 - ・ 日本人専門家チーム
 - ・ Secretary 等事務補助要員

プロジェクト実施及び地域レベルの調整の枠組み

